

“NEW”

HEIDELBERG
ENGINEERING

ハイデルベルグ SL-OCT

[SL-OCT]



ハグストレイト社スリットランプ BD900 に OCT 機能を搭載した前眼部 OCT システム。

1310nm の長波長により非接触で前眼部の断面を鮮明にとらえ、隅角の定量的評価をはじめ、角膜、前房等、各部の計測を一度のスキャンで自動計測表示します。

- OCT のレーザ光はスリット光と同軸で、照射されたスリット光と同一部位の断層画像が得られる
- HRT 等のハイデルベルグ アイエクスプローラと同一のデータベース採用
- 光学台にレーザ本体とコンピュータシステム、モニターを装備した省スペース設計

デジタルゴニオスコピー

豊富なパラメータで計測することにより、定量的な解析ができます。

AOD (Angle Opening Distance)

角膜後面の強膜岬から $500\mu\text{m}$ または $750\mu\text{m}$ の点から垂直に下ろした、虹彩までの距離

TISA (Trabecular Iris Space Area)

AOD500 (または AOD750)、角膜後面、AOD と平行に強膜岬から引いた線及び虹彩表面の 4 つの線で囲んだ面積

ARA (Angle Recess Area)

AOD500 (または AOD750)、角膜後面及び虹彩表面の 3 つの線で囲んだ面積

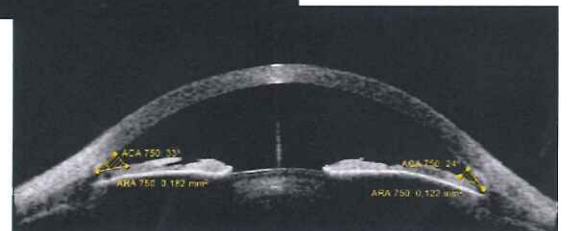
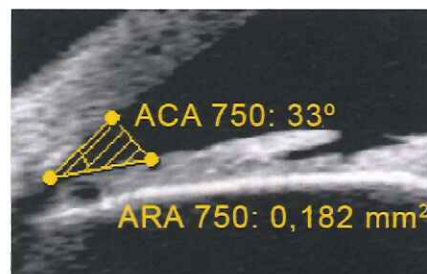
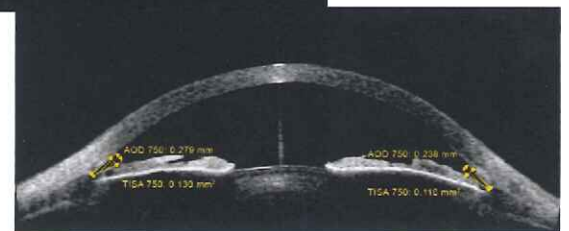
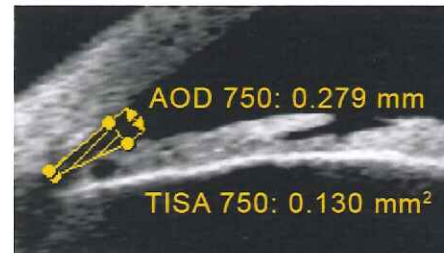
ACA (Anterior Chamber Angle)

ARA で引かれた角膜後面と虹彩表面の角度

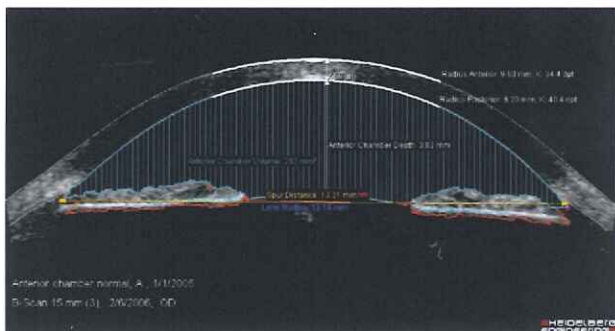
* ARA と ACA はいずれも強膜岬の外側に位置する隅角を含む。強膜岬が隅角のはるか外側にあった場合、ARA と TISA は同一になる

TICL (Trabecular Iris Contact Length)

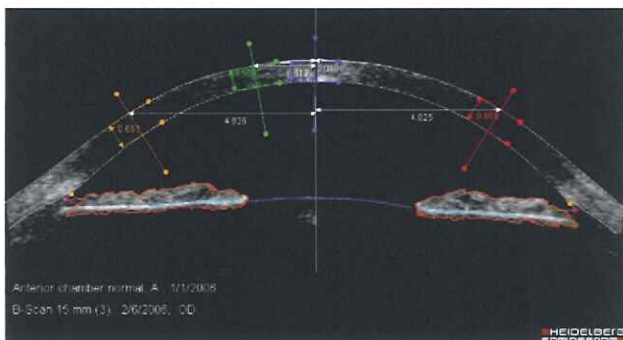
狭隅角、閉塞隅角の場合にだけ可能な計測
TICL は虹彩表面が角膜後面に押しつけられている領域の長さを表わす



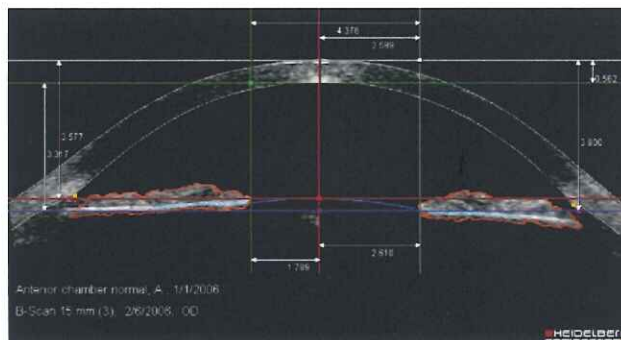
その他の計測機能



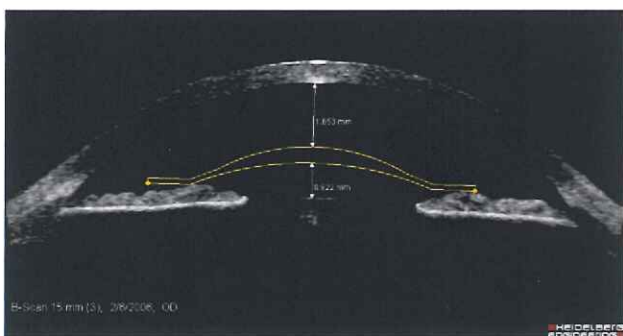
- 前房容積、前房深度
- レンズ、角膜前後面の曲率半径
- White to white
- 瞳孔径



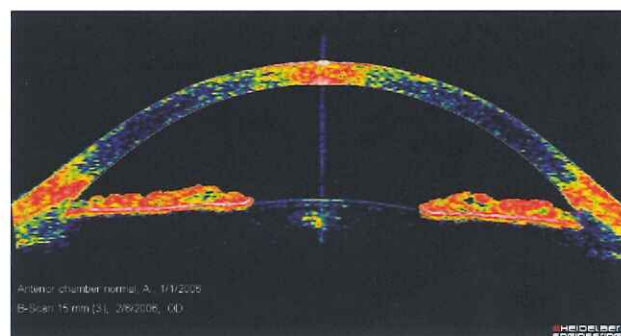
■ 4ヶ所の角膜厚計測



■ 距離計測



■ 前房レンズシミュレーション



■ カラースケール表示

仕 様

測定

スキャン幅	最大 15mm
スキャン深さ	7mm
A スキャン周波数	200Hz
B スキャン周波数	1Hz
解像力 (スキャン方向)	20 μm ~ 100 μm
解像力 (軸方向)	25 μm 以上
S/N比	90db 以上

測定光

光源の種類	ダイオードレーザー (クラスIレーザー)
発振波長	1310nm
出力	0.1mW 以下

電源 : 100VAC 50/60Hz
 消費電力 : 150W
 電撃に対する保護の形式と程度 : クラス I-B

重量 : 約 52 kg (テーブルを含む)

※ 仕様及び外観は、改良の為予告なしに変更する場合があります。

管理医療機器 医療機器認証番号 218AIBZX00054000

製造販売元



ジャパン フォーカス株式会社

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-18(IROHA-JFCビル) ☎03(3815)2611
 大阪/〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町1-4-15(SC堺筋本町ビル) ☎06(6262)1099
 URL: <http://www.japanfocus.co.jp>

製造元 Heidelberg Engineering GmbH, Heidelberg, Germany

総発売元

株式会社 JFCセールスプラン

本社/〒113-0033 東京都文京区本郷4-3-4(明治安田生命本郷ビル) ☎03(5684)8531(代)
 大阪 ☎06(6271)3341 名古屋 ☎052(261)1931 福岡 ☎092(414)7360
 URL: <http://www.jfcsp.co.jp>

Printed in Japan 200701